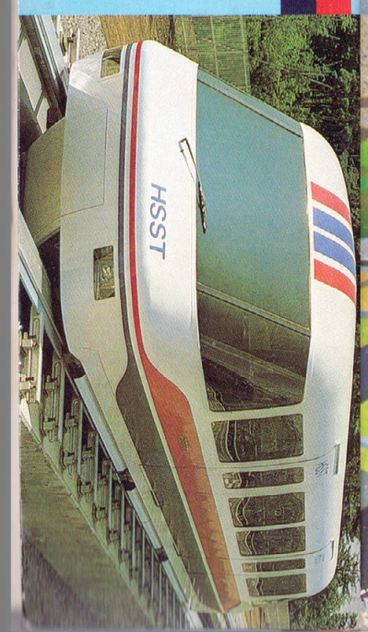
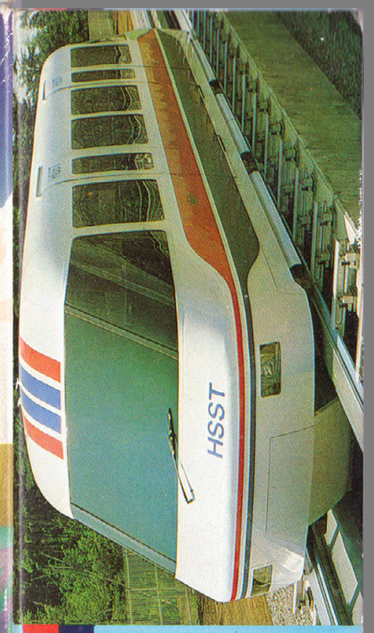
JAL
HSST-03
(SCALE 1:80)



JAPAN AIR LINES
HSST-03

このプラスチックモデルは浮上します。



JAL
HSST-03
(SCALE 1:80)

発売元 日航商事株式会社
製造元 株式会社エンドウ

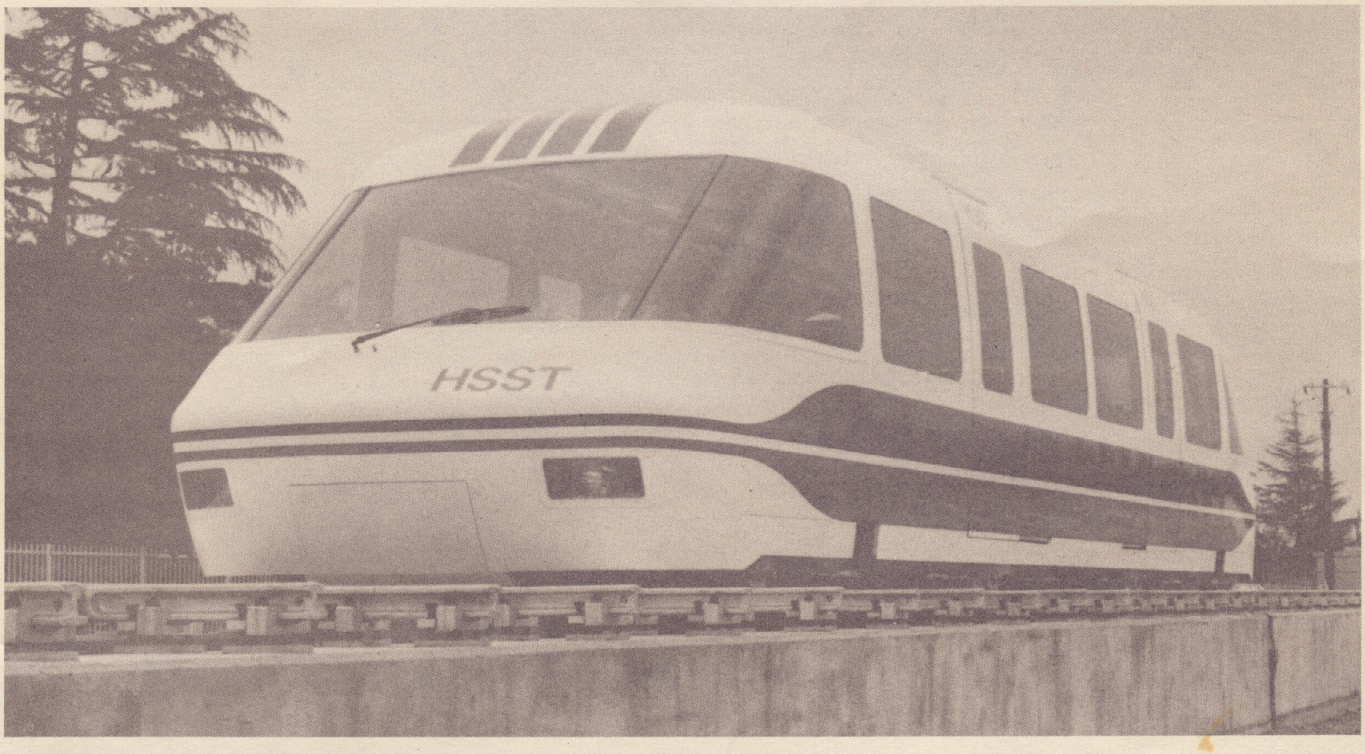
発売元 日航商事株式会社
製造元 株式会社エンドウ

日本郵便
(郵便切手類似品)
1985-029H

あずとりえ
Azutelier

JAPAN AIR LINES

HSST-03 (SCALE 1:80)



HSSTとはHigh Speed Surface Transportの略で磁気浮上、リニアモーター推進による新しいタイプの高速交通機関で、いわば“空飛ぶじゅうたん”のような乗り物です。　この夢のような乗り物は昭和49年より日本航空が開発に着手し、HSST 1号機、2号機を設計製作し、種々の実験を積み重ね高速性や乗り心地等の点で所期の成果を達成した。この成果を踏まえて、日本航空と住友電気工業は昭和58年3月よりHSSTの実用化開発に着手し、3号機製作に取りかかった。

“HSST-EXPO'85”と名付けられた3号機の特徴は浮上走行装置にモジュールを採用したことである。モジュールとは自動車で言えば車輪とエンジンを一諸にしたようなもので、浮上するための電磁石4個と推進するためのリニアモーターをユニット化したものである。3号機にはこのモジュールが片側3個、合計6個取りつけられている。

HSST 3号機は、長さ13.8メートル、幅2.95メートル、重量約12トンで、全体のデザインは航空機風にまとめられている。車体の色は白地に赤と濃紺のストライプ入りで、車内も落ち着いた雰囲気を表現しています。

リニアモーターの原理とHSST　ところでリニアモーターカーとは一体なんだろう？

一般には、磁気を応用して車体を浮上させ、リニアモーターによって走らせる車輛のことと解されてます。リニアモーターというのは円形の誘導モーターを平面に展開し、直線運動をさせるようにしたものである。つまり磁気浮上、リニアモーター推進の車輛のことである。浮上には大別すると二種類の方式があり、磁気吸引方式と磁気反発方式とがある。HSSTは常電導磁気吸引浮上方式を採用している。　推進については交流を使ったものに、誘導電動機を直線上に展開したリニア誘導モーター(リニアインダクションモーター)と同期電動機を直線上に展開した同期形リニアモーターがあり、HSSTが使用しているのは前者の方である。この他に直流タイプのモーターもあり、それぞれの目的にあったリニアモーターの開発が進められている。こうしたなかにあってHSSTの最大の特徴は前にも述べた通りモジュールシステムであり、このシステムのメリットは荷重の分散が可能となることで車輛と軌道が大幅に軽量化できるという点である。又、HSSTは磁気浮上、リニアモーター推進により、車輪コロガリ抵抗等がなく、省エネルギーという点でも秀れている。又レールとは非接触で、しかも荷重を面で支持していることから騒音、振動は極めて少なくなっている。その他コスト、安全性からも未来の乗り物として脚光をあびることと思われます。

資料提供：日本航空

このモデルは模型ファンの皆様にお贈りするスケールモデルキットです。誰にも容易に組立てられますが、この説明書をよくお読みの上、十分注意して組立て下さい。尚キットの他に原理的にきわめて実物に近く簡略化して作った走行用セット(走行車体、軌道、バッテリーパック付）も別売致します。当キットの軌道は駆動用マグネットがついておりませんので走行用には使用できません。

発売元
日航商事株式会社
東京都大田区平和島6-1-1 ☎(03)767-6363

製造元
株式会社エンドウ
東京都昭島市大神町963-1 ☎(0425)44-8011

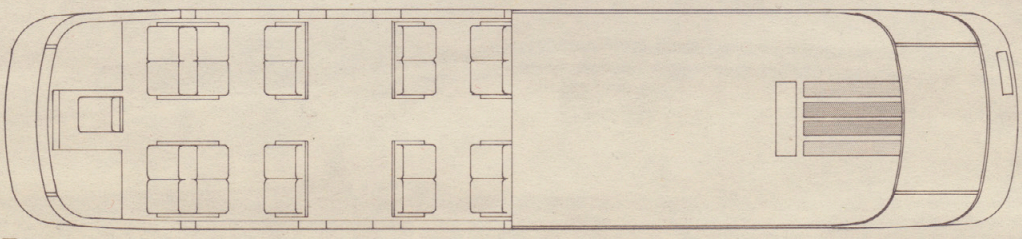
あゾとりえ
Azutelier

JAL HSST-03 浮上展示品・組立キット (SCALE 1:80)

組立を始める前に説明書をよく読んで、全体の構成を頭に入れてください。
次に部品の数を部品表と合はせて、数量を確めてください。デカールの小さいマークは必要数より多く印刷してあります。

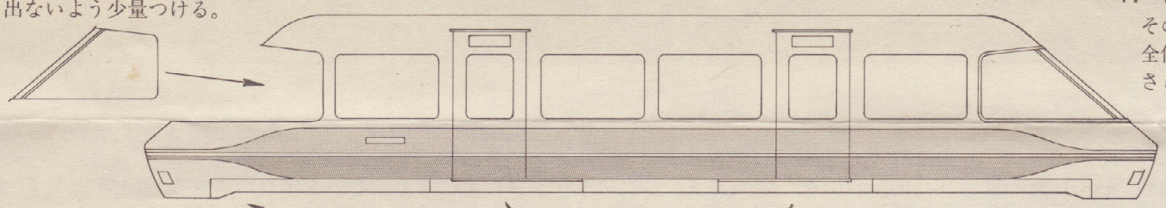
部　品　表

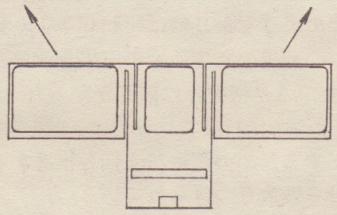
部番	品　名	数量	記　事	部番	品　名	数量	記　事
1	車　体	1		7	モジュールベース	2	
2	前面　窓ガラス	2		8	ガイドピン	4	
3	側面　窓ガラス	4組		9	車体側　ゴム磁石	4	長サ35㎜　巾4.75㎜
4	標識燈ガラス	右 2 左 2		10	接着剤	1本	
5	転写マーク	1枚	小さいマークは余分に入っています	11	直線軌道	1	
6	床板（座席付）	1		12	軌道側　ゴム磁石	2	長サ240㎜　巾4.75㎜
座席等を塗るプラカラーは別にご用意ください。				13	磁石カバー	2	



2. 前面窓ガラス
接着剤を車体内側よりガラス面に出ないよう少量つける。

1. 車体
そのままでも良いが全体を白色に塗るとさらに映えます。

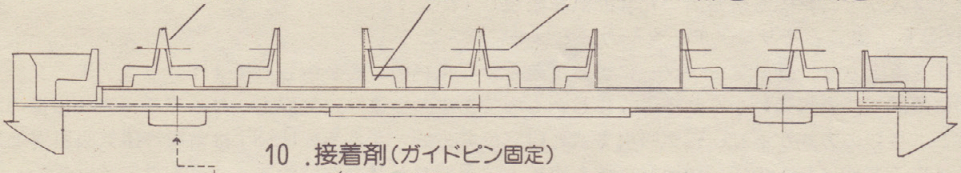




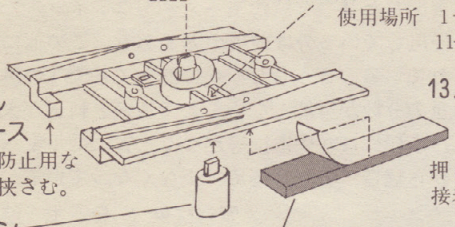
3. 側面窓ガラス
車体にはめこみ後、接着ドア下の凸部は床板の位置決めになります。

4. 標識燈ガラス
車体内側より、はめこみ接着剤づけ　曲面部は車体外側に合わせる。

5. 転写マーク
小さいマークは必要数より多く印刷してあります。取扱はウラ面。



6. 床板（座席付）
座席フトン実物はムラサキ色模様付床は同色のジュウタン

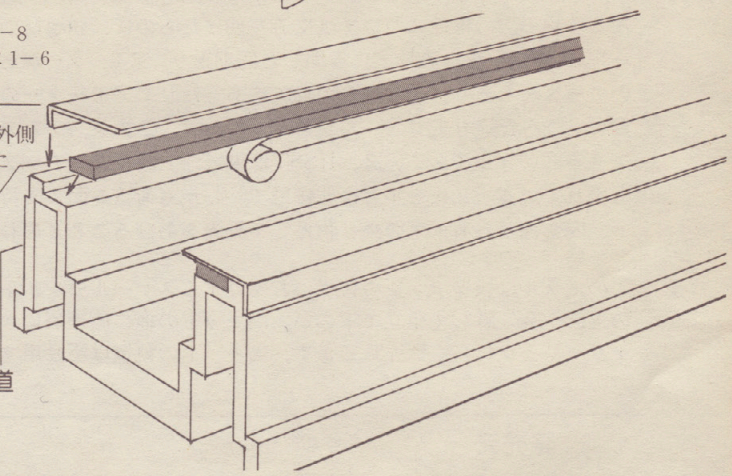


10. 接着剤（ガイドピン固定）
使用場所　1−2・3・4　7−8
11−13　さいごに1−6

7. モジュールベース
この部分は首振防止用なので床板前部を挟さむ。

8. ガイドピン
中部角孔に平面の方から取付け凹部より接着剤をつける。

9. 車体側ゴム磁石
外巾を合わせて前後は同じ位あけて貼り付け。



13. 磁石カバー
縁のある方を外側にして、内側に押しつけながら接着剤。

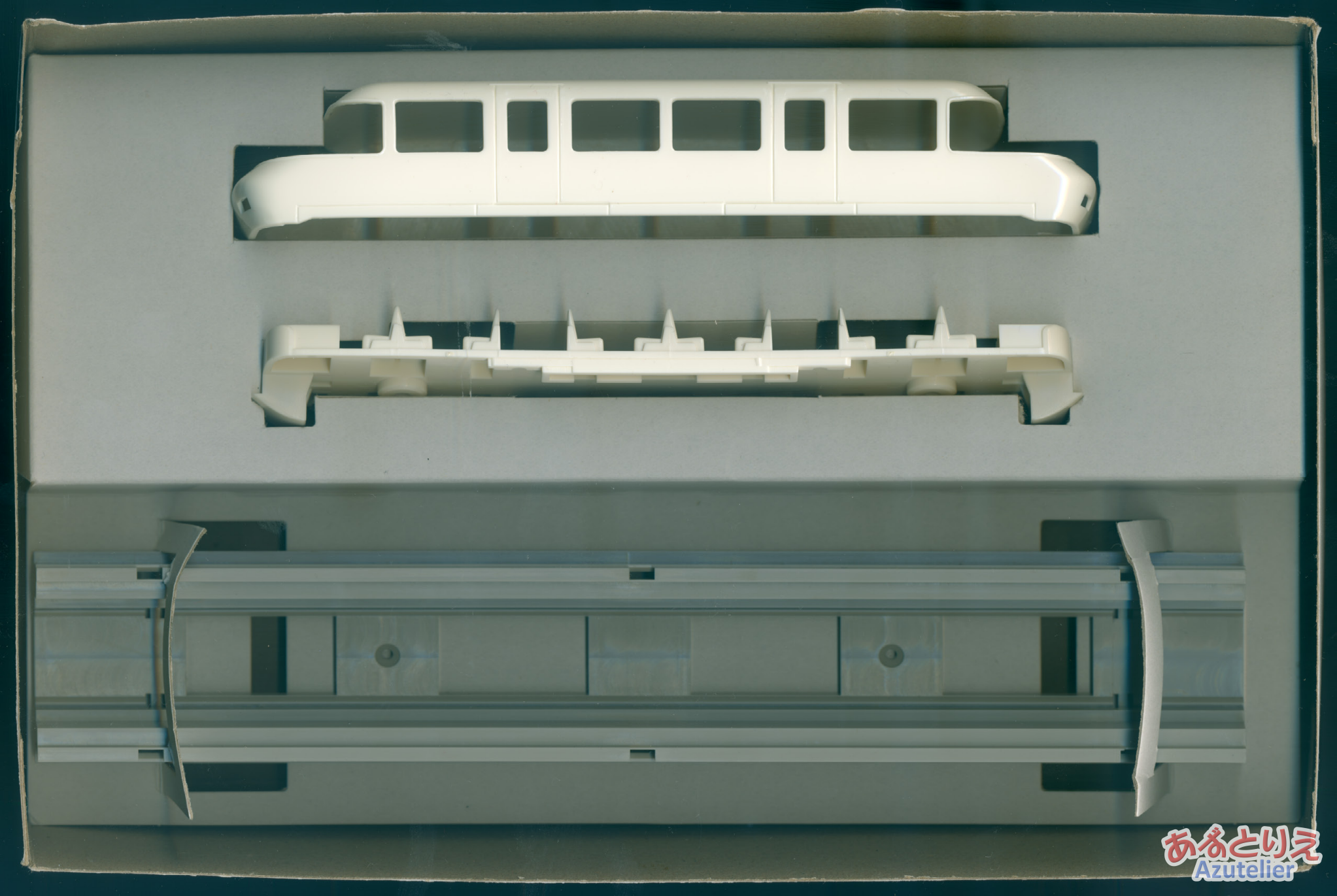
12. 軌道側ゴム磁石
台紙をはがし軌道上部に貼付け。

11. 軌道

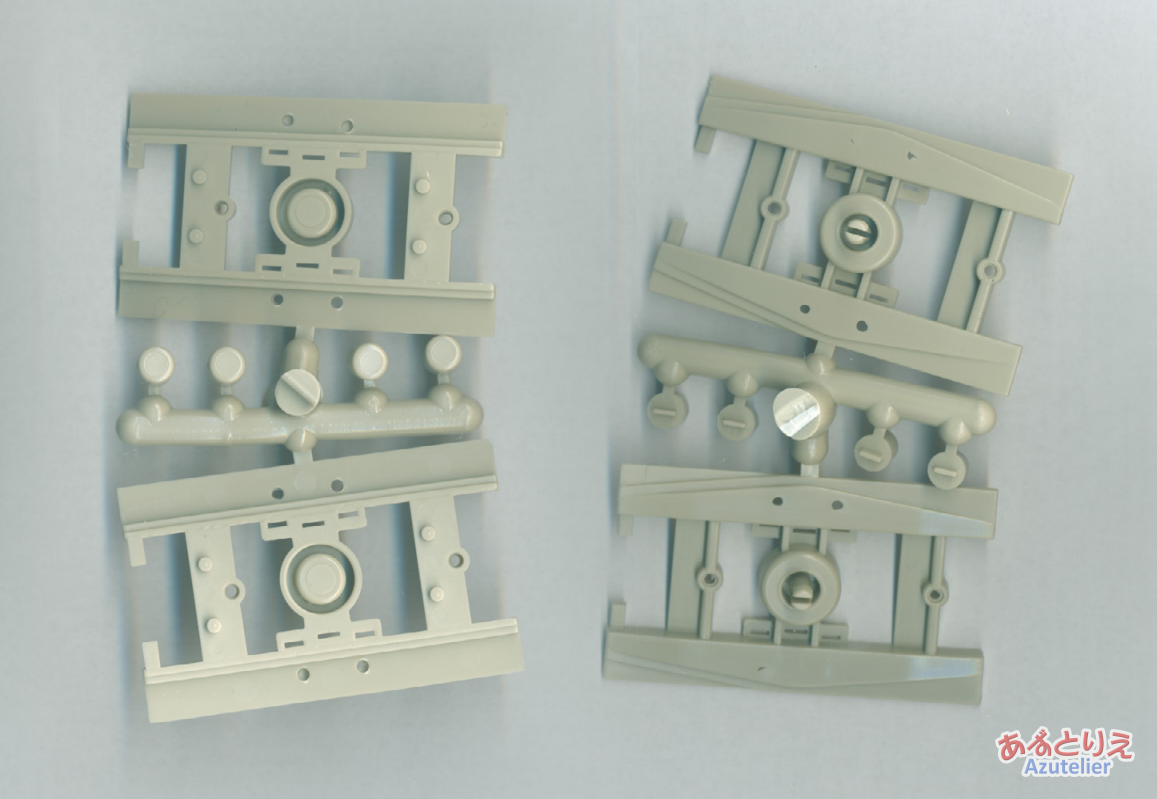
完成したら軌道の上に乗せて見てください。磁力で1ミリ程、浮き上る筈です。軌道をわづかに傾けると静かにすべります。

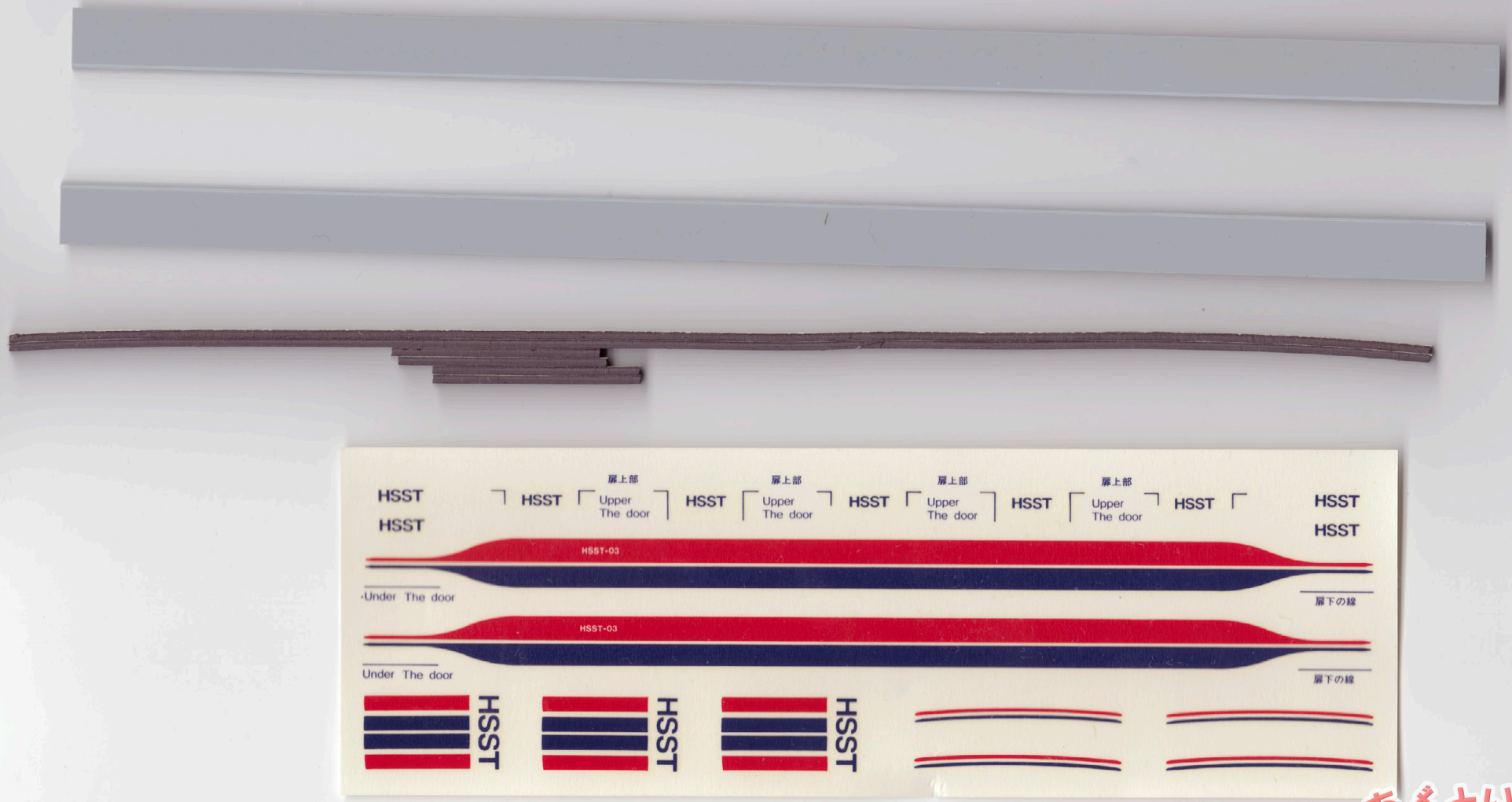
之が重いものを軽く抵抗なく動かす原理となります。新しい交通機関の誕生です。尚、軌道中央部にスポンジを14×14×25ミリ位に切って両面テープで貼り付ければ車輛のストッパになります。次には是非走行用のセットをお試しください。

あゔとりえ Azutelier


あるとりえ
Azutelier

あぁとりえ
Azutelier


あずとりえ
Azutelier



あずとりえ
Azutelier

HSST
HSST

HSST

扉上部
Upper
The door

HSST

扉上部
Upper
The door

HSST

扉上部
Upper
The door

HSST

扉上部
Upper
The door

HSST

HSST
HSST

HSST-03

Under The door

扉下の線

HSST-03

Under The door

扉下の線

HSST

HSST

HSST

あゞとりえ
Azutelier

スライド式転写マーク使用法

1. 水に30秒位つけて下さい。
2. 表を上にして、ずらと取って下さい。
3. やわらかい布で泡を押し出して下さい。
4. かわかないうちは、マークにさわらないで下さい。

＊マークを貼る部分をあらかじめ中性洗剤等でふきとると一層よく接着します。

あずとりえ
Azutelier

あずとりえ
Azutelier